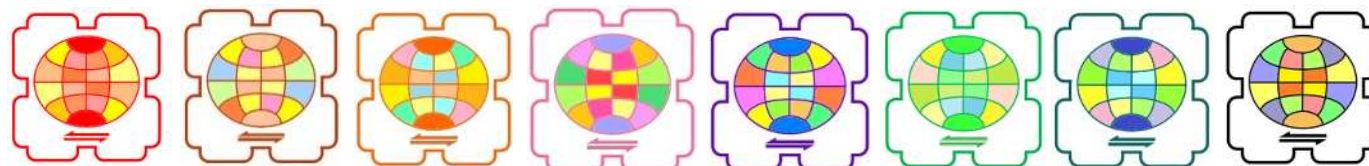


令和5年度第2回岐阜市多文化共生推進会議

令和5年8月31日



**次期岐阜市多文化共生推進基本計画
策定のためのアンケート調査について**



次期岐阜市多文化共生推進基本計画の策定

■次期計画の策定について

現在の多文化共生推進基本計画の計画期間は令和2年度～令和6年度までの5年間であるため、令和7年度以降を計画期間とした新たな計画の策定を予定

■次期計画の考え方

現行計画と基本理念や方向性など基本的な考え方は共有しながら、現状を踏まえた計画として、新たに策定する予定

■策定に向けたスケジュール

令和5年度

- ・外国人市民に対するアンケート調査
- ・日本人市民に対するアンケート調査

令和6年度

- ・素案作成
- ・岐阜市多文化共生推進会議からの意見聴取
- ・パブリックコメント手続きによる意見聴取



外国人市民に対するアンケート調査の概要①

前回の調査

【調査方法】

岐阜大学との共同調査

岐阜市個人情報保護審議会の審議を経て、住民基本台帳のデータを使用し、調査表、返信用封筒及び記念品を郵送

【調査対象】

- ・調査時点で20歳以上の人
- ・岐阜市に来て、1年以上住んでいる人
- ・在留資格が「特別永住者」でない人

以上をすべて満たしている人の中から無作為で、1,550人を選出

今回の調査

【調査方法】

岐阜市単独で調査

個人情報保護法の適用に伴い、庁内関係部局による審査の後、住民基本台帳のデータを使用し、調査表、返信用封筒及び記念品を郵送。

▶ 調査表にはWEB回答用のURL等を記載。

【調査対象】

- ・調査時点で18歳以上の人
- ・岐阜市に来て、1年以上住んでいる人
- ・在留資格が「特別永住者」でない人

以上をすべて満たしている人の中から無作為で、1,500人を選出



外国人市民に対するアンケート調査の概要②

前回の調査

【調査表】

調査票は、「共通アンケート」、「仕事アンケート」、「家族アンケート」の3種類

それぞれに対し、日本語、中国語、英語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語の調査票を用意。選出された対象者の国籍に合わせて、各言語版を送付

【回収率】

22.3% (回収した調査表の数: 328)

【方向性・変更点】

多様な意見を聴取するとともに、統計としての精度向上を図るため、以下により回答者の負担を軽減し、回答率の向上を図る。

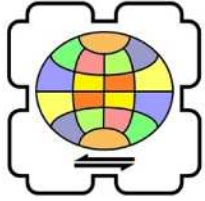
- ・WEB上での回答を可能とする。
- ・調査票は簡素化し、質問事項も絞る。

今回の調査(案)

【調査表】

調査票は1種類・・・次ページにて説明
やさしい日本語、中国語、英語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語の調査票を用意。

▶ 選出された対象者の国籍に合わせて、各言語版を送付



外国人市民に対する アンケート調査の質問事項①

(1) 基本事項

- ①性別、②年齢、③国籍、④在留資格、⑤在留期間、⑥岐阜に住む理由、
⑦日本に住む予定期間、⑧岐阜市に住む予定期間(新規)

(2) 日本語能力

- ①どのくらい話せるか、②どのくらい聞いて分かるか、③どのくらい読めるか、
④どのくらい書けるか、⑤今、日本語を勉強しているか、⑥使える言語は

(3) 家族の教育、介護

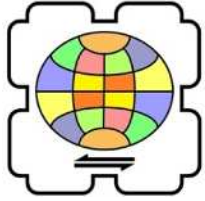
- ①18歳未満の子どもの有無、②その子どもの年齢、③子どもが学校に通っているか、
④子どもの日本語能力、⑤子どもに関する不安、
⑥介護が必要な家族の有無、⑦介護が必要な人の年齢、⑧介護のことで困っていること

(4) 仕事

- ①仕事をしているか、②雇用形態、③どのような仕事か、④働いて良かったこと、
⑤働いて困ったこと

(5) 住居について

- ①どんなところに住んでいるか、②住居について困ったこと



外国人市民に対する アンケート調査の質問事項②

(6) 市役所などのサービスについて

- ①多文化交流プラザに行ったことがあるか、
- ②市役所が行っているサービスをどのように知るか、
- ③岐阜市の外国人向け生活情報ホームページを知っているか(新規)

(7) 自治会活動やコミュニティなどへの参加

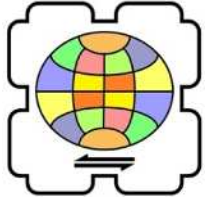
- ①自治会に加入しているか、②自治会への加入・非加入の理由、
- ③自治会や地域の行事で参加したことがあるもの、④近所の人と話をするか、
- ⑤日本人とどのような交流がしたいか、
- ⑥頼りにしているボランティア団体や同じ国の出身者の団体はあるか(新規)

(8) 災害対応

- ①災害情報をどこから入手するか、②災害に備えてどのような準備をしているか
- ③「岐阜市災害時多言語支援センター」を知っているか

(9) 困りごと、相談

- ①現在の悩みや、将来の不安はどのようなことか、
- ②困ったことがあったとき、どこ、または誰に相談する
- ③お知らせをもらうとき、母語以外でどの言語がいいか。



外国人市民に対する アンケート調査の質問事項③

(10) 多文化共生などについて

- ①外国人が暮らしやすいまちにしていくため、どのようなサービスが必要か(新規)
- ②多文化共生社会の推進のため外国人にできること(新規)
- ③多文化共生社会の推進のため日本人にできること(新規)

(11) 最後に

- ①岐阜市に暮らして満足しているか

- ・調査票を1種類にまとめるとともに、調査項目を見直し
- ・新規項目を追加しつつ、重要度の高い質問に絞り、全体で件数を削減(67問→47問(条件付きの質問含む))
- ・現推進計画に記載・記述がないもの、直接具体的な取組に繋げにくいものは削除

実際の調査表(案)は資料3 (前回の調査表は資料4)



日本人市民に対するアンケート調査の概要

前回の調査

【調査方法】

インターネットを利用して、市政に関するアンケート調査等の回答を行う岐阜市市政モニターを対象として、調査を実施。

【調査対象】

- ・岐阜市に住む20歳以上の日本人市民
- ・あらかじめ市政モニターとして登録している200名

【調査表の配布・回収】

Eメール

【回収率】

90.5%（回収した調査表の数:181）

今回の調査

【調査方法】

インターネットを利用して、市政に関するアンケート調査等の回答を行う岐阜市市政モニターを対象として、調査を実施。

▶ 【調査対象】

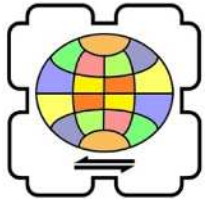
- ・岐阜市に住む18歳以上の日本人市民
- ・あらかじめ市政モニターとして登録している200名

【調査表の配布・回収】

Eメール

【変更点・方向性】

- ・成人年齢の変更に伴う制度の変更を除き、前回と同様に実施



日本人市民に対する アンケート調査の質問事項

- ① お住まいの地区
 - ② お住まいの地域に外国人市民は増えたと感じるか
 - ③ 外国人市民と交流する機会の有無
 - ④ ③が「1.ある」の場合、どのような交流か
 - ⑤ ③が「2.ない」の場合、理由は
 - ⑥ 日本人市民と外国人市民との間にトラブルが起きる原因は
 - ⑦ 岐阜市に新しく外国人が移り住み、外国人市民が増えることについてどう思うか
 - ⑧ あなたは今後外国人市民とどの程度関わりたいですか？
 - ⑨ ⑧が「1.積極的に関わりたい」、「2.どちらかといえば関わりたい」の場合、どのように
 - ⑩「やさしい日本語」を知っているか、使っているか(新規)
 - ⑪多文化共生社会促進のために、外国人市民ができることは何か
 - ⑫多文化共生社会促進のために、日本人市民ができることは何か
 - ⑬そのほか、岐阜市で外国人市民と日本人市民がともに協力しあい、誰からも愛されるまちを作っていくためにできること、やらなければならないことなど自由に
- ※性別、年齢、職業は別途確認

外国人に尋ねるべき2件を削り、1件を追加(14問→13問)

実際の調査表(案)は資料5 (前回の調査表は資料6)

「たぶんかアクションプラン」について



「たぶんかアクションプラン」について

『岐阜市多文化共生推進基本計画 -たぶんかマスタープラン2020～2024-』を推進するため、毎年度の各部の事業計画・実績をもとに、本計画の施策ごとに「たぶんかアクションプラン」を作成

☞ 6月に事業計画を取りまとめ、年度末に各事業の達成度合いを確認

・たぶんかアクションプラン～2022実績～ ……資料7

・たぶんかアクションプラン～2023～ ……資料8